

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年9月17日 (2009.9.17)

【公表番号】特表2009-507085(P2009-507085A)

【公表日】平成21年2月19日 (2009.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-007

【出願番号】特願2008-528343(P2008-528343)

【国際特許分類】

C 1 1 D 3/386 (2006.01)

C 1 1 D 3/16 (2006.01)

C 1 1 D 1/72 (2006.01)

C 1 1 D 1/722 (2006.01)

C 1 1 D 1/22 (2006.01)

C 1 1 D 17/08 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 3/386

C 1 1 D 3/16

C 1 1 D 1/72

C 1 1 D 1/722

C 1 1 D 1/22

C 1 1 D 17/08

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月30日 (2009.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

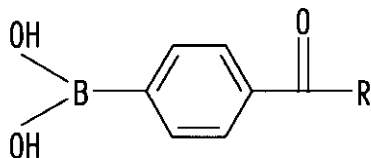
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

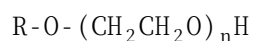
【請求項 1】

酵素、フェニルホウ素酸の誘導体、及び界面活性剤を含んで成る濃縮された液体酵素添加剤であって、前記酵素が1.5g/L以上の量で存在し、前記フェニルホウ素酸の誘導体が、次の式：

【化 1】

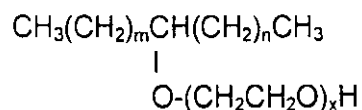


[式中、Rは、水素、ヒドロキシ、C₁-C₆アルキル、置換されたC₁-C₆アルキル、C₁-C₆アルケニル及び置換されたC₁-C₆アルケニルから成る群から選択される]で表されるフェニルホウ素酸誘導体酵素安定剤であり、そして前記界面活性剤が、



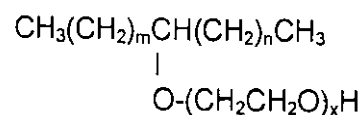
[式中、Rは 8～22個の炭素原子を有する、枝分かれ鎖又は直鎖のアルカンであり、そしてnは 3 に等しいか又は 3 以上である]、

【化 2】



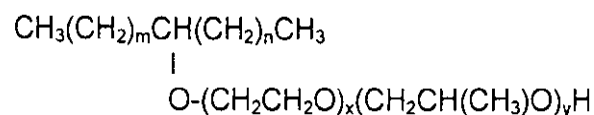
[式中、X = 5、m + n = 9 ~ 11]、

【化 3】



[式中、X = 9、n + m = 9 ~ 11]、

【化 4】



[式中、m + n = 12 ~ 14、X = 7、y = 2.5]、及び

 $(\text{CH}_3)_2\text{C}_6\text{H}_3\text{SO}_3\text{Na}$

から成る群から選択される、液体酵素添加剤。

【請求項 2】

前記 pH が 5 ~ 10 である請求項 1 記載の液体酵素添加剤。

【請求項 3】

前記界面活性剤の HLB 値が少なくとも 9 である請求項 1 又は 2 記載の液体酵素添加剤。

【請求項 4】

前記酵素がプロテアーゼである請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載の液体酵素添加剤。

【請求項 5】

前記フェニルホウ素酸誘導体が、合計液体添加剤の 20 % w/w までの量で存在する請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項記載の液体酵素添加剤。